

中学生の「税についての作文」

大川市教育長賞

私たちの暮らしに関わる税

大川市立三又中学校

一年 末 永 由 麻

「税は何のためにあるのだろう。」と思ったことはありませんか。これまで私はそのように思っていました。そんな私が税のことを考えるようになったのは、今年の七月五日から六日にかけて起こった九州北部豪雨がきっかけです。

私自身には被害はありませんでしたが、大川市にも大雨特別警報が出ていて学校も休校になりました。特に、五日の夜遅くは激しく雨も降っていて雷がずつと落ちてとても怖かったです。でも私よりも怖い思いをした人がいると思います。朝倉や東ほう村の方々は、激しい雨で川がけっかいし、家が流されたり土砂が流れてきてまきこまれてしまったりしているのを六日の朝起きてテレビのニュースでそのような災害の映像を見て言葉が出てきませんでした。今までは自然災害の被害を軽く考えていました。この朝倉、東ほう村で起きた豪雨で自然災害の怖さを知り大きな被害にあわれた方々のことを思うと胸が痛くなりました。

こんな大変な状況の中で被災したすぐ後からたくさんさんの自衛隊や消防

の方々が被災して身動きがとれなくなって孤立してしまっている人の救助や、こう水と共に流れてきた丸太などの流木の処理をしてくれました。その救助や処理にかかったお金は普段私たちが消費税などで納めている税金が使われていることを知りました。今まで私が税に対する考えが変わり、私たちが納めている税の大切さを感じました。そして、税は私たちの暮らしのいろんなところで役に立っていることを知りました。身近な所では、学校や教科書、机やイスなどたくさんさんの税が使われています。今、私が学校で楽しく生活できていることも税のおかげなので感謝の気持ちでいっぱいになりました。

最近では、税を増やす政策があり、政府の方々が国会などで議論されているのをよくニュースで見かけます。豪雨から一ヶ月以上経っている今でも、多くの被災者の方々が不自由な生活を送っており、土砂やがれきがたくさん残っていて復興にはとても時間がかかります。今は復興のためにたくさんのお金がかかるので税が増えるのもしかたがないことだと思えます。税はいろいろな公共施設の整備や被災した方々の生活を支援するために使われています。このようなことがあったときこそ必要としている方々のために税を大切に使うてほしいです。復興のために全国で国民が納めている税を使っていくと今後が明るい未来になる一歩だと思っています。

国民の暮らしに関わる税の大切さを知るには、どのようなときに税が使われているのかなど税についても国民一人一人が関心をもつといいと思います。

私は、今まで何不自由なく生活できるのがあたりまえだと思っていたので明るい未来のために税のことにもっと関心をもちたいです。